

国内初の独自技術でWの効果 「べた〜とシート」新発売
～農地畦畔の管理コスト削減と労力の省力化～
雑草の防草効果+地被植物の活着効果

【概要】

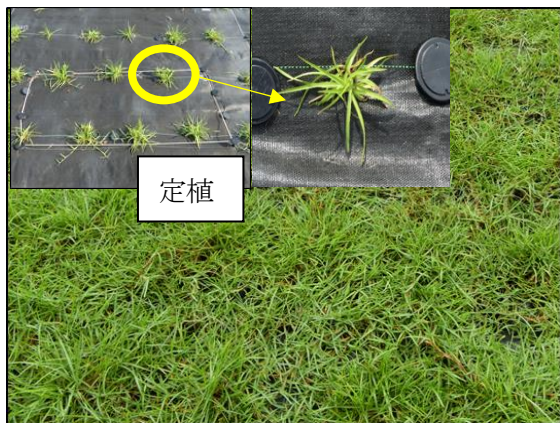
農林水産省「農地畦畔における草刈り「ゼロ化」管理の省力化技術の開発」採択品

農林水産省 官民連携新技術研究開発事業(平成28年度～平成30年度)にも、高い評価を頂きました。

農業用防草シート「べた〜とシート」は、平織り(高密度織物)、綾織り、ループ糸をパターン化し、地被植物が根付き生長しやすい特性があります。農地の草刈りや害虫対策等の労力の省力化に貢献します。

■従来品との比較

従来の防草シートでは、芝苗の節根が、シートを貫通出来ず育成が不安定です。「べた〜とシート」を使用すると、親株と節根の両方から栄養を吸い上げるため、旺盛な生育になります。加えて、被覆率の向上によりシートの劣化も防ぎます。



定植後4ヵ月経過 被覆率83% 兵庫県姫路市



河岸湖畔の施工例(滋賀県)

■ どうして、防草シートが必要？

通常、水田周辺の雑草を近隣農家で、一斉に除去を行います。カメムシは主として畦畔等のイネ科雑草で増殖し、出穂期以降に成虫が水田内へ侵入します。そのため、イネの出穂期前に畦畔等のカメムシ類の密度を低減できれば、水田内に侵入を抑制し、斑点米被害のリスク低減につながります。

カメムシ類発生前までに水田周辺の除草を徹底して行い、その後、カメムシ類の水田内への侵入を防ぐために耕種的防除対策は重要です。

新製品「べた〜とシート」を敷設することで、2～3年地被植物が根付き、出穂期の水田における斑点米カメムシ類の発生を大幅に減少させ、農薬散布の減少も見込んでいます。



小泉製麻グループ

<資料に関してのお問合せ先>

株式会社小泉ビジネスソリューション

広報担当：篠原 麻裕子

電話：078-841-4142

Fax：078-841-4145 (携帯：080-3693-8544)

E-Mail：shinohara@koizumi-jm.jp

HPアドレス：http://www.koizumiseima.co.jp/

住所：〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号